



2024年5月28日

各位

会社名 アゼアス株式会社
代表者名 代表取締役社長 斉藤文明
(コード番号: 3161 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役執行役員総務部部長 五十嵐克己
(TEL. 03-3865-1311)

業績予想の修正に関するお知らせ

2023年6月13日に公表いたしました、2024年4月期通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2024年4月期通期連結業績予想数値の修正 (2023年5月1日～2024年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 9,507	百万円 536	百万円 565	百万円 385	円 銭 67.92
今回発表予想 (B)	8,242	291	308	187	33.04
増減額 (B - A)	△1,264	△245	△256	△197	
増減率 (%)	△13.3	△45.6	△45.4	△51.3	
(ご参考) 前期実績 (2023年4月期)	9,081	531	562	406	71.96

2024年4月期通期個別業績予想数値の修正 (2023年5月1日～2024年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 7,590	百万円 464	百万円 516	百万円 362	円 銭 63.91
今回発表予想 (B)	6,527	252	300	209	36.94
増減額 (B - A)	△1,062	△211	△215	△152	
増減率 (%)	△14.0	△45.5	△41.8	△42.1	
(ご参考) 前期実績 (2023年4月期)	7,383	456	489	362	64.12

修正の理由

(1) 連結業績予想の修正理由

防護服・環境資機材事業におきましては、業況感の改善に伴い、一般産業分野においては、需要が堅調である一方、家畜感染症を含めた感染症分野では、今期になって需要が比較的落ち着いているほか、足元では、安全環境設備分野や、新たな事業領域として取り組む高視認防護服や難燃防護服など、新事業における業容拡大がやや遅れて進捗していることもあり、防護服・環境資機材事業全体で年度末の需要が前期を下回った結果、例年ピークを迎える同事業の第4四半期業績は、当初の想定を下回る見込みです。また、ヘルスケア製品事業におきましては、主力製品であるアゼアスデザインセンター秋田で生産する日本製マスクについて、生産効率の向上により前期と比べて改善傾向にはあるものの、小売店では依然として在庫調整が続いていることから、当社においても一時的に生産量を調整したほか、資材調達の点においては、円安の進行等に伴う資材価格の高騰が主な要因となって、同事業は、今期も営業損失を計上する見込みです。

以上の結果、売上高は前回発表予想額より1,264百万円減少の8,242百万円、営業利益は245百万円減少の291百万円、経常利益は256百万円減少の308百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は197百万円減少の187百万円に各々修正いたします。

(2) 個別業績予想の修正理由

修正理由につきましては、(1)の連結業績予想の修正理由と同様の理由です。

2. 期末配当予想について

今回の業績修正に伴う期末配当予想（1株当たり23.00円）の修正はありません。

(注) 上記に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

以 上